



Shin-ei



えにし
縁だより
窓の歴史と成り立ち



9月に入ったとはいえ依然厳しい暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。今月は工務の内場智仁が窓の歴史と成り立ちについてお話します。窓の基本的な役割と例えば、「部屋の中に光を取り入れる」「換気・排煙をする」ことだと言えます。旧石器時代の竪穴式住宅で、葦や茅等で葺かれた天井に光・煙を出す為の開口部、これが日本におけるルーツと言えます。庇を設けた平安時代には、格子を組み間に板を挟んだ板戸で上げ下げするわけですから、使い勝手は良いものではなかったようです。現在のような窓が現れるのは室町時代中期で、銀閣寺の「書院造り」には、現在の窓の形に近い物が出現しますがまだ和紙が張られた物でした。当時の武士は窓の光を頼りに書物を読んだのです。明治維新後は文明開化に伴いガラス工業が発展し、現在の形になりました。とかく断熱性能や機能面に目がいき、性能・数値で良し悪しが決められがちな窓ですが、生活を豊かにすることや、外部の視線から生活を守る事等、デザインや暮らしにも影響を与える重要な存在です。住まい造りを検討している方々のご参考になればと思います。又、今回は私自身にも良い勉強になりました。これからも現場管理者としてより良い住まいを提供して参ります。



自由設計
Scene-A

2024

9月

株式会社シンエイ・シンエイリフォーム

兵庫県西宮市小曾根町4丁目5番16号

TEL 0798-47-1661 FAX 0798-48-0354

info@scene-a.com